

オペレーティングマニュアル・日本語



Fujitsu Component SERVIS KVM solution

小型遠隔ユニット FE-1300CW
オペレーティングマニュアル兼保証書

2016年10月版

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講じるよう要求されることがあります。

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、（1）原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御などの、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途ならびに（2）海底中継器、宇宙衛星など、極めて高度な信頼性が要求される用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性ならびに信頼性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用と本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からの如何なる請求または損害賠償に対しても、富士通コンポーネント株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

その他の製品名等の固有名詞は、各社の登録商標または商標です。

Copyright 2016 FUJITSU COMPONENT LIMITED

目 次

1. はじめに	1
2. 表記規則	1
3. 添付品の確認	2
4. 重要なお知らせ	2
5. 安全性	3
6. 特長	10
7. 各部の名称と働き	10
7-1. LOCAL (送信ユニット)	10
7-2. REMOTE (受信ユニット)	12
7-3. LED 表示一覧	14
8. 取付金具 (オプション品) を使用した固定方法	16
8-1. L タイプ取付金具	16
8-2. VESA 取付金具	18
9. フェライトコアの取り付け	19
10. ケーブルの接続と取り外し	20
10-1. ケーブルの接続	20
10-2. AC アダプタのコード固定方法	22
10-3. ケーブルの取り外し	23
11. 各種設定方法、操作方法	23
11-1. 画質調整	23
11-2. プラグアンドプレイデータ(EDID データ)の設定	26
11-3. 各国キーボード言語設定	27
11-4. キーボード、マウスの操作権	28
11-5. パラメータの初期化	28
12. 対応機種	29
12-1. キーボード	29
12-2. マウス	31
12-3. モニタ	32
13. 仕様	33
14. トラブルシューティング	35

1. はじめに

このたびは、小型遠隔ユニット（以降、遠隔ユニットまたは本装置と呼びます）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本装置は、サーバとキーボード、マウス、モニタを離れた場所に設置できるため設置場所の制限が大幅に改善されます。

本書は、本装置の基本的なことからについて説明しています。ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

また、本書は本装置の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品として提供される本書、装置本体は、お客様の責任でご使用ください。

本製品の使用によって発生する損失やデータの損失については、富士通コンポーネント株式会社では一切責任を負いかねます。また、本製品の障害の保証範囲はどのような場合でも、本製品の代金としてお支払いいただいた金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

2. 表記規則

このオペレーティングマニュアルで使用している記号と文字の意味は次のとおりです。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性があること、および物的損害（本装置またはサーバの損害など）が発生する可能性があることを示しています。

Point

この記号のあとの文書は補足説明、注釈、ヒントです。

カギ括弧（「」）	参照する章のタイトルや用語の強調をしています
<>	キーボード上のキーを示します 例：<ESC>は ESC キーを<ENTER>は ENTER キーを示します
()で囲まれた数字	順序に従って行う必要がある操作を示します
[]	本製品のフロントパネル又はリアパネルにある LED,スイッチ,コネクタ等を示します

3. 添付品の確認

添付品が揃っていることを確認し、(✓点)を付けてください。

<input type="checkbox"/> LOCAL (送信ユニット)	× 1
<input type="checkbox"/> REMOTE (受信ユニット)	× 1
<input type="checkbox"/> オペレーティングマニュアル (本書)	× 1
<input type="checkbox"/> ACアダプタ	× 2
<input type="checkbox"/> ACコード	× 2
<input type="checkbox"/> ナイロンランプ	× 2
<input type="checkbox"/> ネジ(ナイロンランプ取り付け用、FG取り付け用)	× 4
<input type="checkbox"/> フェライトコア	× 1
<input type="checkbox"/> ナイロンバンド(ACアダプタ結束用)	× 2

万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、担当営業員までお申し付けください。

4. 重要なお知らせ

「5.安全性」には、本装置で作業する際に注意しなければならない、安全性に関する情報を記載しています。よくお読みのうえ、正しくご使用ください。

5. 安全性

安全に関するご注意

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないための警告表示をしています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文から構成しています。

以下に、警告レベルの記号を示し、その意味を説明します。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示は正しく使用しない場合、人が死亡する、または重傷を負う恐れがあることを示しています。
 注意	この表示は、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、本装置自身またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。

使用中の取り扱いについて

警告

感電、火災



開口部から本装置内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

水ぬれ



本装置に水をかけたり、濡らしたりしないでください。感電・火災の原因となります。

水場での使用



風呂場、シャワー室などの水場で使用しないでください。感電・火災の原因となります。

悪環境での使用



本装置の上や近くに、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または、小さな金属物を置かないでください。装置内に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグ抜去



万一、本装置から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに本装置の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因となります。

電源プラグ抜去



万一、装置内部に水などの異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売窓口までご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグ抜去



万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売窓口までご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

航空機内での使用



航空機内では本装置を使用しないでください。航空機の計器誤動作の原因となります。

使用中の取り扱いについて

注意



使用中の本体や AC アダプタなどは、布などでおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり、火災の原因になることがあります。



本装置の開口部（通風孔など）をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

衝撃、振動



本装置に過度の衝撃や振動を与えないでください。感電・火災または、故障の原因になることがあります。

国内仕様



本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し日本国外への技術サポート、およびアフターサービス等を行っておりませんので、あらかじめご了承ください。

設置・据付について

警告

感電



アクセサリの取り付けおよび取り外しを行う場合は、必ず装置本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。感電の原因となります。

感電、火災



本装置を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

注意

悪環境への設置



水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しないでください。感電・火災・故障などの原因になることがあります。

不安定な場所



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

振動、衝撃



振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

専用箱での運搬



本装置を運搬する際は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か同等の箱を使用してください。ただし、変形および破損等がある箱は、使用しないでください。本装置が故障する原因となることがあります。

結露



本装置を寒冷な環境から設置場所に移動すると、結露を生じることがあります。装置が完全に乾燥し、設置場所とほぼ同じ温度になってから使用してください。すぐに使用すると、本装置が故障する原因となることがあります。

AC アダプタ・電源・電源コードについて

警告

ぬれ手



ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

火災



電源プラグとコンセントの接続部には、ホコリやゴミをためないでください。その状態で長い間使用して湿気をおびると、接続部が熱をもって発火にいたる「トラッキング」を起こし、火災の原因となります。

火災



電源コードを巻いたり、束ねたりしないでください。その状態で使用すると電源コードが熱をもって発火し、火災の原因となります。

感電・火災



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして、電源コードを傷めないでください。感電・火災の原因となります。

感電・火災



電源コードのコードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい状態では使用しないでください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

アース接続



電源を接続する前に必ずアース接続をしてください。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

アース接続



湿気が多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

感電・火災



指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。感電・火災の原因となります。

感電・火災



添付の電源コード以外は使用しないでください。感電・火災の原因となります。

AC アダプタ・電源・電源コードについて

警告

火災



電源プラグを電流容量 15A 以上の専用コンセントに直接接続してください。延長コードは過熱・発火の危険があるので使わないでください。

火災



指定の電源電圧以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となります。

注意

感電・火災



電源コードのプラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず電源コードのプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

火災



電源コードのコンセント差し込みプラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。プラグとコンセントの接触不良により、火災・故障の原因となることがあります。

火災



長時間装置を使用しないときには、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。火災・故障の原因となることがあります。

感電・火災



電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

保守について

警告

お客様自身の修理  本装置の修理はお客様自身で行わないでください。火災・感電の原因となります。弊社にご連絡のうえ、弊社の担当保守員によるメンテナンスを受けてください。

分解・改造  本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本製品の中古品をオーバーホールなどによって再生して使用しないでください。使用者や周囲の方の身体や財産に予期しない損害が生じるおそれがあります。

注意

装置内の取り扱い  静電気に対し誤動作や故障を起こす場合があります。保守担当者以外は内部に触れないでください。

廃棄  本製品は金属、プラスチック部品を使用しています。廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。

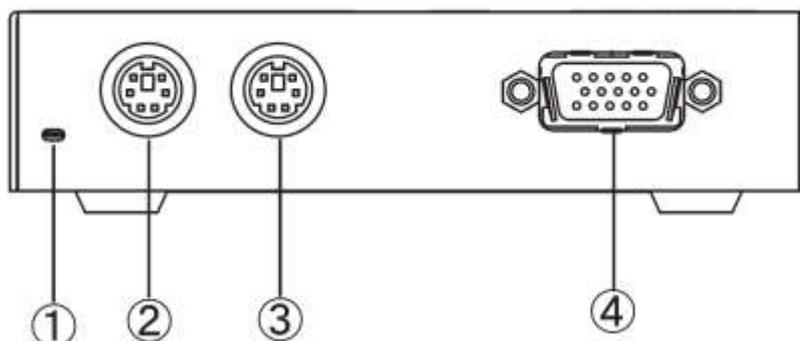
6. 特長

- 当社独自の高品位画像伝送技術により高解像度モニタでもストレス無く遠隔操作できます。
- KVM スイッチと組み合わせて、離れた場所の多数のサーバを管理することが可能です。

7. 各部の名称と働き

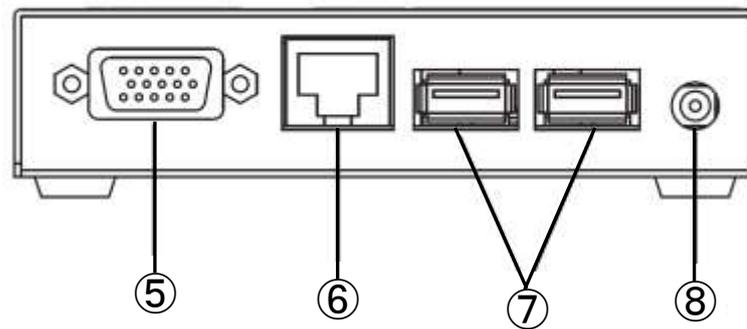
7-1. LOCAL (送信ユニット)

フロントパネル



- ① [Power] LED
電源を入ると、緑色 LED が点灯します。電源が切れると消灯します。
LOCAL と REMOTE の[CatX]コネクタが接続されていないときは点滅します。
[USB]コネクタに接続したデバイスが過電流状態の場合は、赤色 LED が点灯します。
詳細は「7-3. LED 表示一覧」を参照ください。
- ② [PS/2 マウス]コネクタ (緑色)
PS/2 マウスを接続します。REMOTE 側にもマウスを接続した場合、同時操作はできません。
また、USB マウスとの併用はできません。PS/2 マウス、USB マウスを同時に接続した場合は USB マウスが優先します。
- ③ [PS/2 キーボード]コネクタ (紫色)
PS/2 キーボードを接続します。REMOTE 側にもキーボードを接続した場合、同時操作はできません。また、USB キーボードとの併用はできません。PS/2 キーボード、USB キーボードを同時に接続した場合は USB キーボードが優先します。
- ④ [SERVER]コネクタ (黒色)
サーバと本機を専用のサーバ/PC 接続専用ケーブルで接続します。
形格は 34 ページ「オプション」を参照してください。

リアパネル



⑤ [モニタ]コネクタ (青色)

モニタを接続します。

⑥ [CatX]コネクタ

Cat ケーブルにて REMOTE の [CatX] コネクタと接続します。

⑦ [USB]コネクタ

USB キーボード・マウス・ハブを接続します。

キーボード・マウス・ハブはどちらに接続しても動作します。

キーボード・マウス・ハブ以外は接続できません。

接続できるデバイスの最大数は下記の通りです。

- ・キーボード・マウス合わせて 4 台

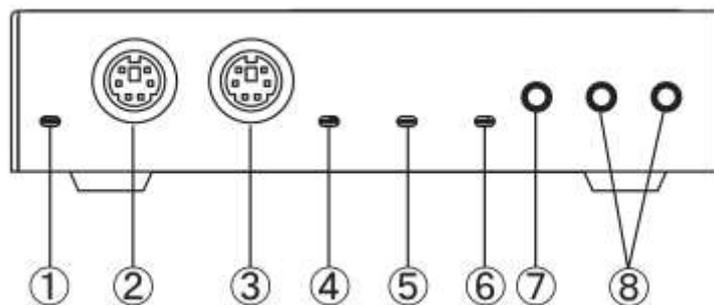
- ・ハブ 1 段

⑧ [AC アダプタ]コネクタ

添付の AC アダプタを接続します。添付の AC アダプタ以外は使用しないでください。

7-2. REMOTE (受信ユニット)

フロントパネル



- ① [Power]LED
電源を入れると、緑色 LED が点灯します。電源が切れると消灯します。
LOCAL と REMOTE の[CatX]コネクタが接続されていないときは点滅します。
[USB]コネクタに接続したデバイスが過電流状態の場合は、赤色 LED が点灯します。
詳細は「7-3. LED 表示一覧」を参照ください。
- ② [PS/2 マウス]コネクタ (緑色)
PS/2 マウスを接続します。LOCAL 側にもマウスを接続した場合、同時操作はできません。
また、USB マウスとの併用はできません。PS/2 マウス、USB マウスを同時に接続した場合は USB マウスが優先します。
- ③ [PS/2 キーボード]コネクタ (紫色)
PS/2 キーボードを接続します。LOCAL 側にもキーボードを接続した場合、同時操作はできません。
また、USB キーボードとの併用はできません。PS/2 キーボード、USB キーボードを同時に接続した場合は USB キーボードが優先します。
- ④ [EQ/Skew]LED
画質を調整する際に使用します。詳細は「7-3. LED 表示」及び「11-1. 画質調整」を参照ください。
- ⑤ [Mode1]LED
画質を調整する際に使用します。詳細は「7-3. LED 表示」及び「11-1. 画質調整」を参照ください。
- ⑥ [Mode2]LED
画質を調整する際に使用します。詳細は「7-3. LED 表示」及び「11-1. 画質調整」を参照ください。

⑦ [Select]スイッチ

画質を調整する際に使用します。詳細は「7-3. LED 表示」及び「11-1. 画質調整」を参照ください。

⑧ [◀],[▶]スイッチ

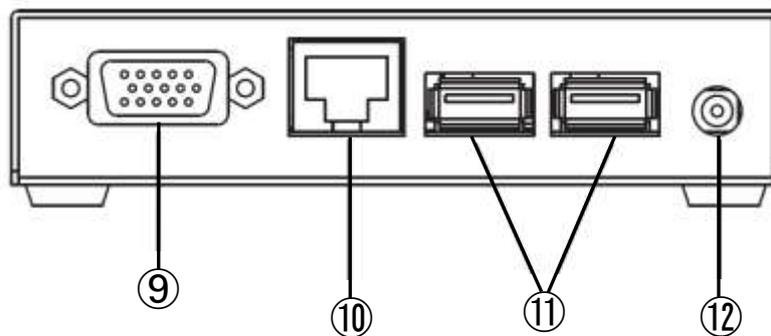
REMOTE にモニタを接続した際、画面が劣化している場合に、画質を補正します。

詳細は「11-1.画質調整」を参照ください。

[EQ/Skew]LED、[Select]スイッチ、[◀],[▶]スイッチは、キーボードの言語設定を行う際にも使用します。

詳細は「7-3. LED 表示一覧」及び「11-3. 各国キーボード言語設定」を参照ください。

リアパネル



⑨ [モニタ]コネクタ（青色）

モニタを接続します。

⑩ [CatX]コネクタ

Cat ケーブルにて LOCAL の[CatX]コネクタと接続します。

⑪ [USB]コネクタ

USB キーボード・マウス・ハブを接続します。

キーボード・マウス・ハブはどちらに接続しても動作します。

キーボード・マウス・ハブ以外は接続できません。

接続できるデバイスの最大数は下記の通りです。

- ・キーボード・マウス合わせて 4 台
- ・ハブ 1 段

⑫ [AC アダプタ]コネクタ

添付の AC アダプタを接続します。添付の AC アダプタ以外は使用しないでください。

7-3. LED 表示一覧

LED	状態	LED 表示
[Power] LED (LOCAL)	AC アダプタより電源供給無	消灯
	AC アダプタより電源供給有で、[CatX]コネクタに Cat ケーブルが接続 (LOCAL-REMOTE 間) されている	緑色 点灯
	AC アダプタより電源供給有で、[CatX]コネクタに Cat ケーブルが接続 (LOCAL-REMOTE 間) されていない	緑色 点滅 (150ms 間隔)
	REMOTE に接続されたキーボードの操作により EDID の読み込み操作が行われた	緑色 一瞬消灯 (OFF → ON)
	USB 過電流状態 USB キーボード、マウス、HUB 使用不可	赤色 点灯
[Power] LED (REMOTE)	AC アダプタより電源供給無	消灯
	AC アダプタより電源供給有で、[CatX]コネクタに Cat ケーブルが接続 (LOCAL-REMOTE 間) されている	緑色 点灯
	AC アダプタより電源供給有で、[CatX]コネクタに Cat ケーブルが接続 (LOCAL-REMOTE 間) されていない	緑色 点滅 (150ms 間隔)
	REMOTE に接続されたキーボードの操作により EDID の読み込み操作が行われた	緑色 一瞬消灯 (OFF → ON)
	USB 過電流状態 USB キーボード、マウス、HUB 使用不可	赤色 点灯

設定モード	状態	LED 表示			
		[EQ/Skew] LED	[Mode1] LED	[Mode2] LED	
通常設定 モード	フォーカス調整モード	緑色 点灯	赤色 点灯	消灯	
	明るさ調整モード		緑色 点灯		
	Rの色ずれ調整モード	赤色 点灯	赤色 点灯		
	Gの色ずれ調整モード		緑色 点灯		
	Bの色ずれ調整モード		青色 点灯		
EQ 詳細 設定モード	周波数調整(100MHz Stage1)	青色 点灯	赤色 点灯	赤色 点灯	
	周波数調整(100MHz Stage2)			緑色 点灯	緑色 点灯
	周波数調整(100MHz Stage3)				青色 点灯
	周波数調整(6MHz)		緑色 点灯		赤色 点灯
	周波数調整(20MHz)			緑色 点灯	
	周波数調整(200kHz)			青色 点灯	
	周波数調整(1MHz)		青色 点灯	赤色 点灯	
	Rの明るさ調整モード		消灯	赤色 点灯	
	Gの明るさ調整モード			緑色 点灯	
	Bの明るさ調整モード			青色 点灯	
	Noise Filter			青色 点灯	緑色 点灯

8. 取付金具（オプション品）を使用した固定方法

オプションの取付金具を用意しています。

取付金具を利用することにより、机の側面やモニタの背面に簡単に取り付けすることができます。

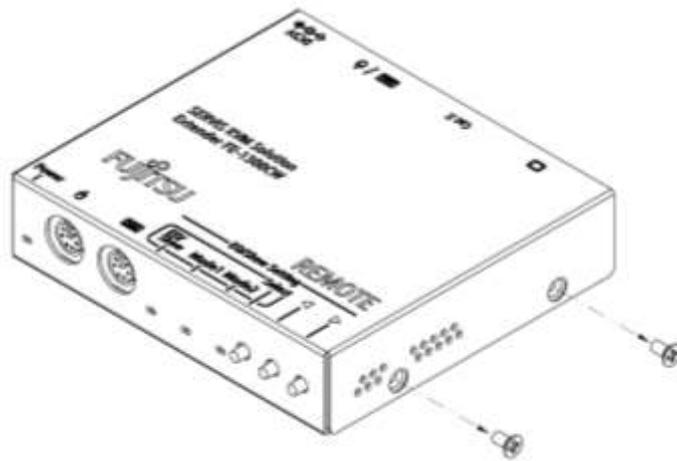
取付金具には、LタイプとVESA取付金具の2種類があります。

形格は34ページ「オプション」を参照してください。

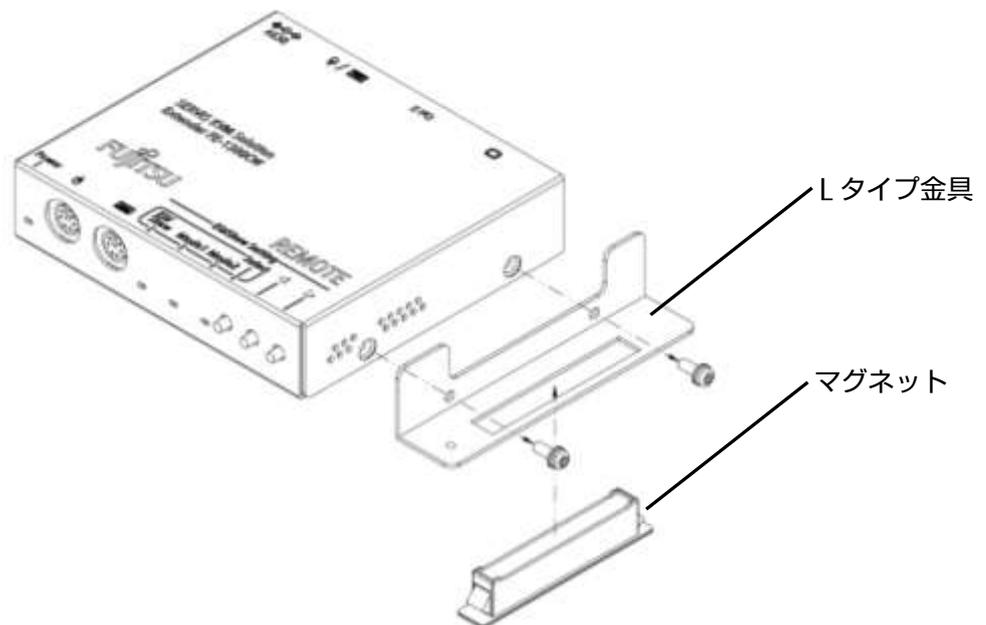
8-1. Lタイプ取付金具

注：以下の説明はREMOTE（受信ユニット）を例に説明しますがLOCAL（送信ユニット）の場合も同様です。

- (1) ケース側面のネジを取り外します。
(取り外したネジは使用しませんので保管しておいてください)



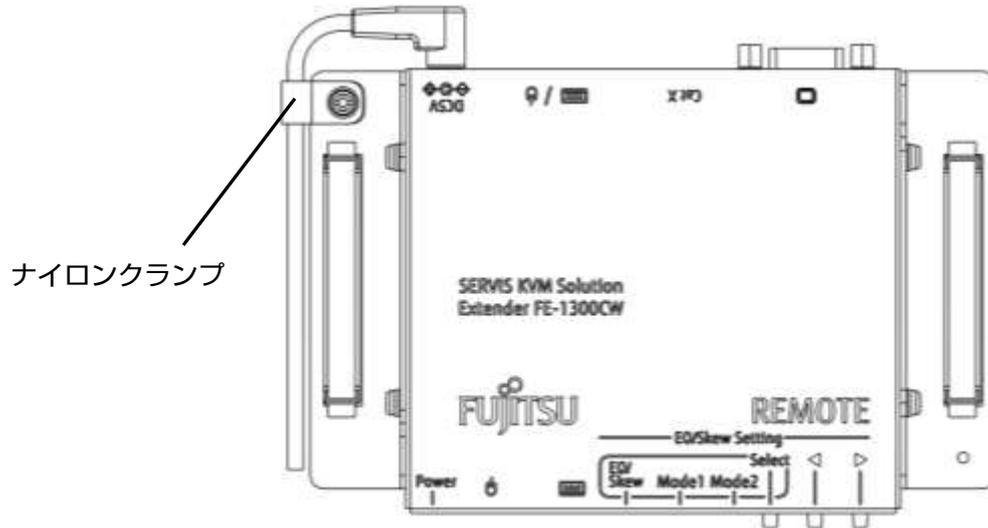
- (2) 金具に添付されているネジを使ってケース側面にLタイプ金具をネジ止めします。
次にマグネット（金具の付属品）をLタイプ金具の角穴に差し込みます。



(3) 反対側の側面も(2)と同様にLタイプ金具とマグネットを取り付けます。

(4) Lタイプ金具のマグネットにより、机（金属製）の側面などに取り付けます。

電源コードの抜けを防止するため、必要に応じて下図のようにナイロンクランプ（添付品）とネジ（添付品）を使って電源コードを固定してください。

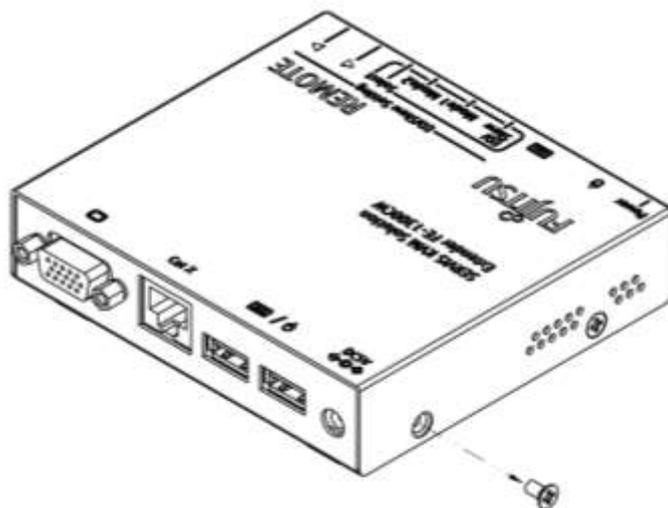


8-2. VESA 取付金具

注：以下の説明は REMOTE（受信ユニット）を例に説明しますが LOCAL（送信ユニット）の場合も同様です。

(1) ケース側面のネジを取り外します。

(取り外したネジは使用しませんので保管しておいてください)

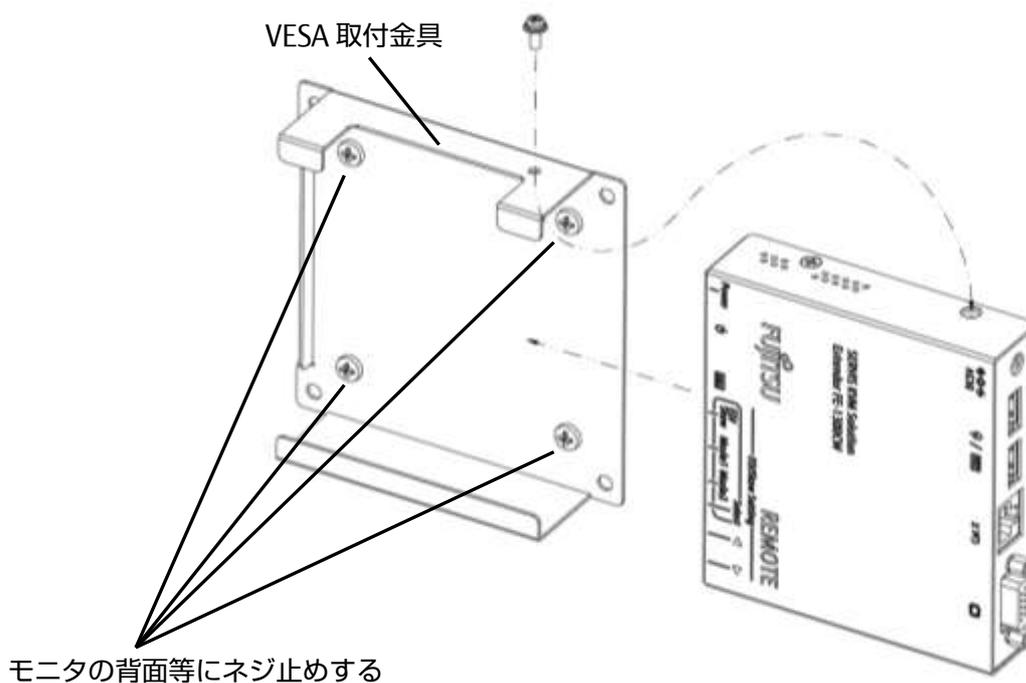


(2) 金具に添付されているネジを使って金具をモニタの背面等にネジ止めします。

次に本装置を金具にネジ止め（1ヶ所）します。

本装置を金具に取り付ける際に本装置底面に貼り付けされているゴム足がネジと干渉する場合は、ゴム足を剥がして干渉しない位置に張り替えてください。

(ゴム足を剥がす際に、手の爪を剥がさないようご注意ください)



9. フェライトコアの取り付け

UTP ケーブルをご使用の場合のみ、取り付けを行います。

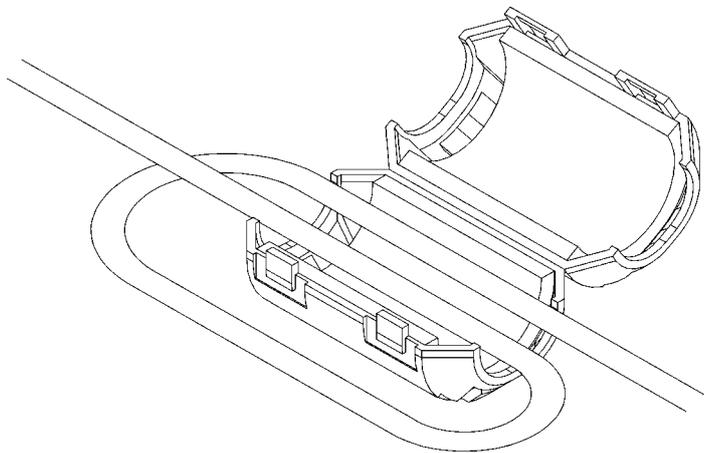
STP ケーブルへの取り付けは不要です。LOCAL (送信ユニット) 側にフェライトコアが実装されるように Cat ケーブルに、フェライトコアをとりつけてください。(不要輻射低減の為)



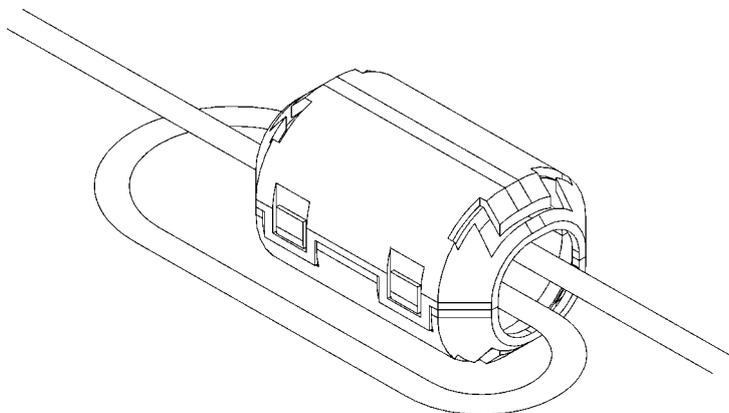
フェライトコアにケーブルまたは指等をはさまないように注意しながら、確実にロックしてください。

(1) フェライトコアに、Cat ケーブルを 1 巻して固定してください。

LOCAL (送信ユニット) 側の装置から約 20cm 以内をめぐり、フェライトコアが実装されるように、取り付けてください。



(2) ケーブル、指などをはさまないように確実にロックします。



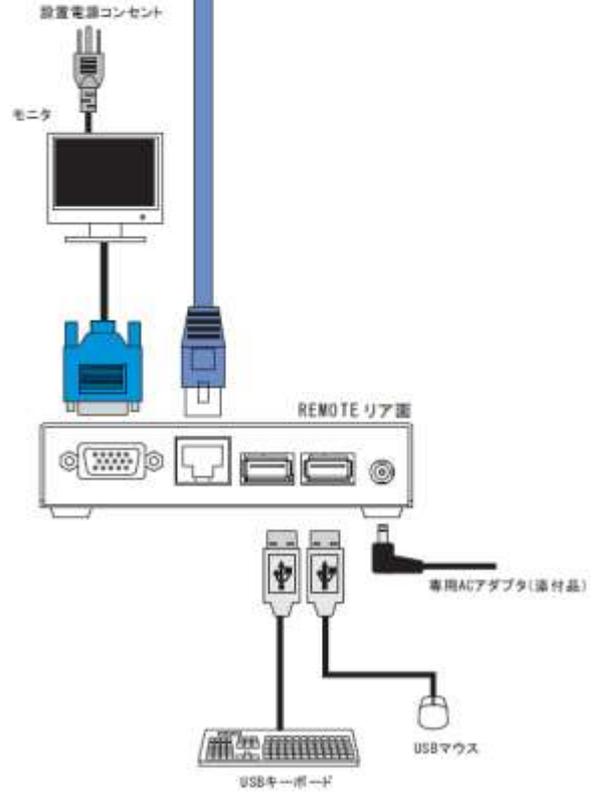
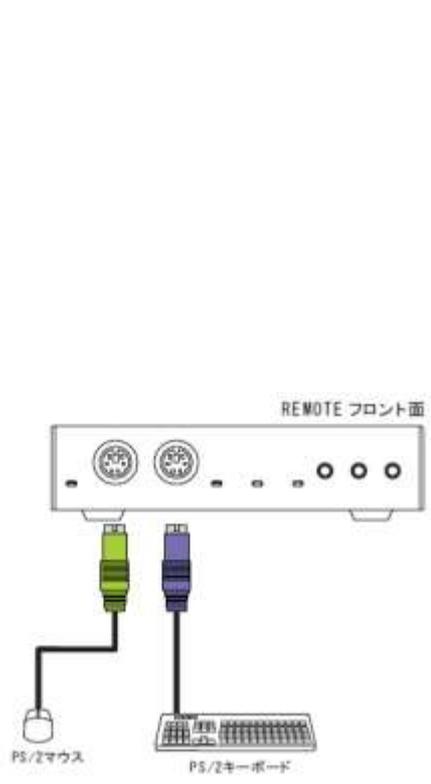
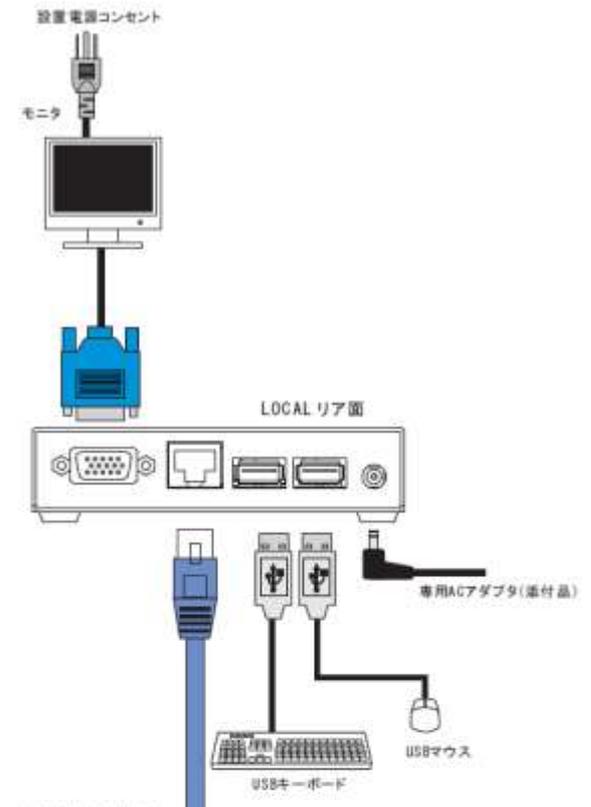
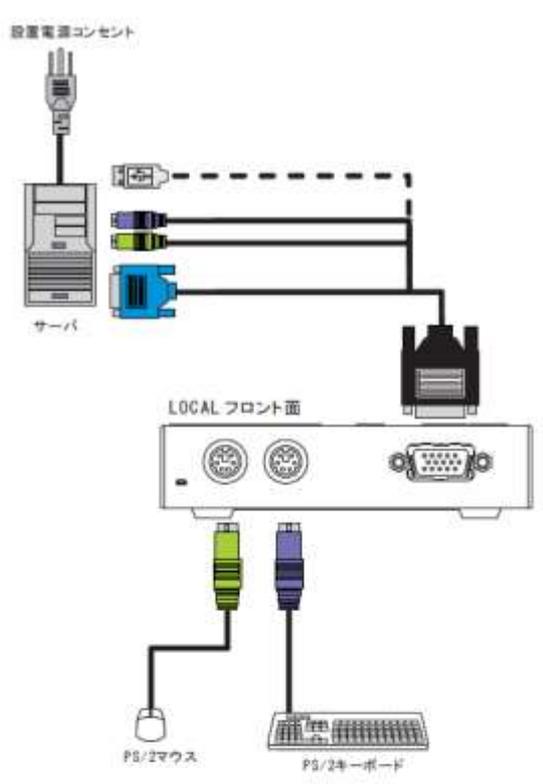
10. ケーブルの接続と取り外し

10-1. ケーブルの接続

- (1) サーバの電源ケーブルを電源コンセントに接続します。ただし、サーバ電源は OFF のままにしてください。
- (2) サーバのキーボードコネクタ、マウスコネクタ及びモニタコネクタに別手配のサーバ/PC 接続専用ケーブルを接続します。
- (3) サーバ/PC 接続専用ケーブルの反対側のコネクタを本装置のサーバ接続用ポートに接続します。
- (4) [CONSOLE] ポートにキーボード、マウス、モニタを接続します。PS/2、USB の両方に接続しても USB 側しか動作しません。

(LOCAL,REMOTE のご使用になるコンソールへ任意に接続)

- (5) LOCAL,REMOTE 間を Cat ケーブルにて接続します。
- (6) LOCAL,REMOTE それぞれに AC アダプタを接続します。
- (7) モニタの電源を入れ EDID を REMOTE に読み込ませます。
(詳細は、「11-2. プラグアンドプレイデータ (EDID データ) の設定」を参照ください)
- (8) サーバの電源を入れます。



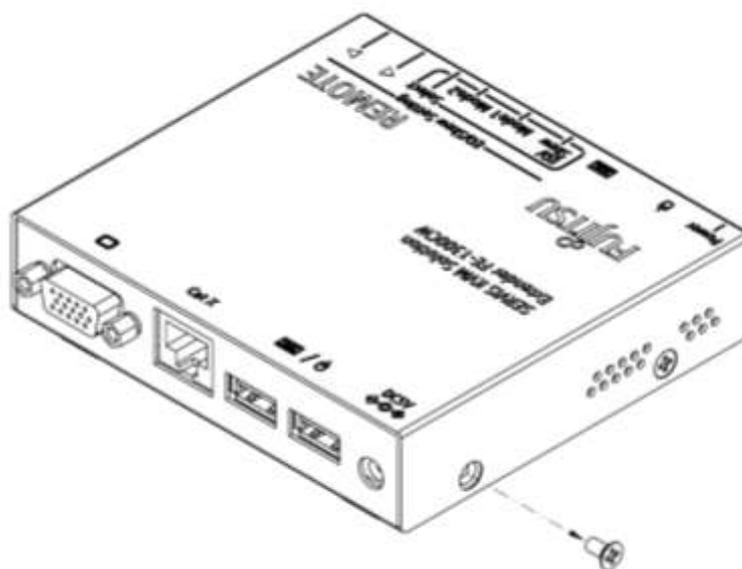
10-2. ACアダプタのコード固定方法



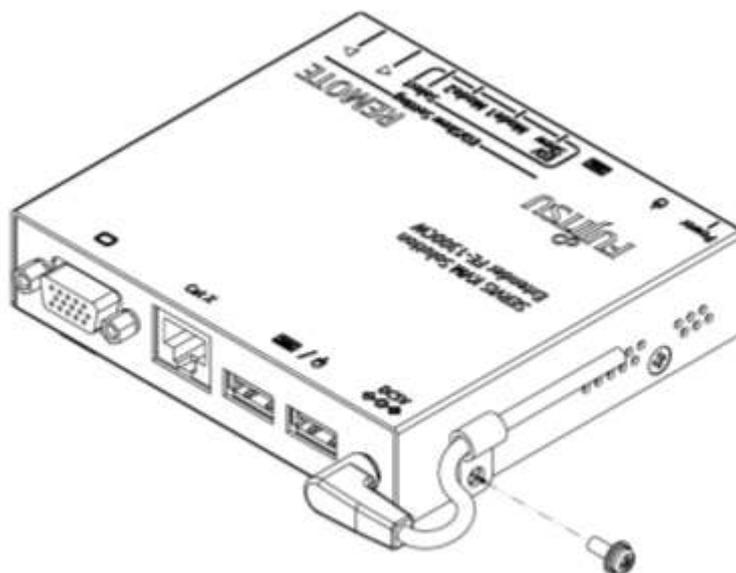
注意

作業をするときは、ACアダプタの電源コードをコンセントから抜いてください。

- (1) 遠隔ユニットのカバー取付ネジを1本取り外します。
(取り外したネジは、使用しませんので、保管しておいてください)



- (2) [ACアダプタ]コネクタにACアダプタのプラグを差し込みます。次に、本装置に添付されている“ナイロンクランプ”と“ネジ”を使って、図のようにコードを固定します。



10-3. ケーブルの取り外し

影響を受ける装置すべての電源プラグを電源コンセントから抜いた後で、各ケーブルを取り外してください。

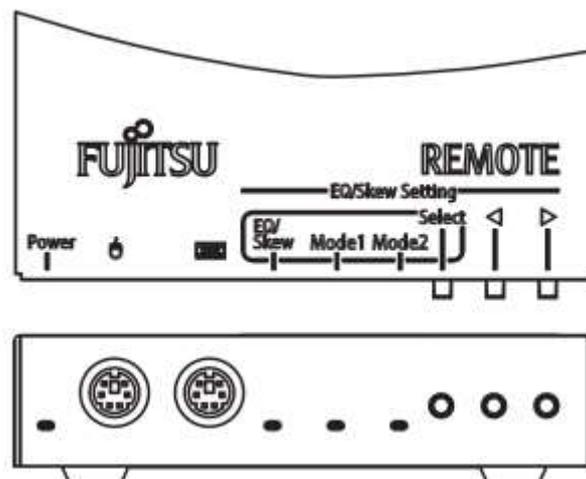
11. 各種設定方法、操作方法

11-1. 画質調整

REMOTE でモニタを使用する際、Cat ケーブルによる減衰の影響で画質が劣化します。

11-1-1 項及び 11-1-2 項を行うことで、劣化した画質を補正することができます。

11-1-1 画質の調整(通常設定モード)



REMOTE の EQ/Skew setting と表示された部分のスイッチを使用し画質の調整を行います。[Select] スイッチを押すごとに“ピッ”というブザー音が鳴り、下記のとおり画質調整、色ずれ調整のモードが切り替わります。

“フォーカス調整モード” → “明るさ調整モード” → “Rの色ずれ調整モード” →
“Gの色ずれ調整モード” → “Bの色ずれ調整モード” → “調整の決定” →
“フォーカス調整モード” …

- (1) [Select]スイッチを押し、“フォーカス調整モード”を選択します。モードを選択した後、[◀]、または[▶]スイッチを押し、画質がシャープになるように調整します。
より細かく調整したい場合は EQ 詳細設定モードの周波数調整で設定することができます。
詳細は、「11-1-2. 画質の調整(EQ 詳細設定モード)」を参照ください。
- (2) [Select]スイッチを押し“明るさ調整モード”を選択します。モードを選択した後、[◀]、または[▶]スイッチを押し、適度な明るさに調節します。
より細かく調整したい場合は EQ 詳細設定モードの各色の明るさ調整で設定することができます。
詳細は、「11-1-2. 画質の調整(EQ 詳細設定モード)」を参照ください。
- (3) 色ずれ (Skew) を調整する時には、背景を黒にした、白の縦線(細線)1本を引いた画面を表示します。ペイント等のアプリケーションソフトを使用することで簡単に作成することができます。
- (4) [Select]スイッチを押し調整する色(R,G,B)を選択します。色を選択した後、[▶]スイッチを押すと選択した色線が右側へ移動
[◀]スイッチを押すと左に移動します。
- (5) 最初に大きく動かして、色ずれ等が変化することを確認してください。色ずれ等の変化が分かってきたら、移動量を少なくして白色の縦線1本になるように調整してください。
- (6) LCD モニタの自動調整ボタンを押下し、画質が鮮明(色ずれ、にじみ等無い状態)になっているか確認してください。
- (7) [Select]スイッチを押し、調整を決定します。

設定一覧

項	モード	LED 表示			初期値	最小値	最大値	STEP
		[EQ/Skew] LED	[Mode1] LED	[Mode2] LED				
1	フォーカス調整	緑色点灯	赤色点灯	消灯	0	0	15	1
2	明るさ調整		緑色点灯		0	0	127	1
3	Rの色ずれ調整	赤色点灯	赤色点灯		0	0	31	1
4	Gの色ずれ調整		緑色点灯		0	0	31	1
5	Bの色ずれ調整		青色点灯		0	0	31	1

11-1-2 画質の調整(EQ 詳細設定モード)

- (1) EQ 詳細設定モードを変更するには、[◀][▶]スイッチを押しながら[Select]スイッチを押します。
- (2) [Select]スイッチを押すごとに、“周波数調整(100MHz Stage1)” → “周波数調整(100MHz Stage2)” → “周波数調整(100MHz Stage3)” → “周波数調整(6MHz)” → “周波数調整(20MHz)” → “周波数調整(200kHz)” → “周波数調整(1MHz)” → “Rの明るさ調整” → “Gの明るさ調整” → “Bの明るさ調整” → “Noise Filter” → “周波数調整(100MHz Stage1)”・・・とモードが切り替わり、“ピッ”というブザー音が鳴ります。
- (3) 各色の明るさを調整したい場合は、[Select]スイッチを押し調整する色を選択します。
色を選択した後、
[▶]スイッチを押すと選択した色が明るく
[◀]スイッチを押すと選択した色が暗くなります。
- (4) 周波数を調整したい場合は、[Select]スイッチを押し調整したい周波数のモードを選択します。
[▶]スイッチを押すと周波数が高く
[◀]スイッチを押すと周波数が低くなります。
- (5) ざらつき等のノイズを軽減したい場合は、[Select]スイッチを押し“Noise Filter”モードを選択します。
[▶]スイッチを押すと、Filterが通す信号の周波数を高く
[◀]スイッチを押すと、Filterが通す信号の周波数を低く設定することができます。
- (6) [Select]スイッチを長押しすると、1秒押すごとに“ピッ”というブザー音が鳴り、3秒押すと調整内容が決定され、EQ 詳細設定モードを終了します。

設定一覧

項	モード	EQ 詳細モード	LED 表示			初期値	最小値	最大値	STEP	
			[EQ/Skew] LED	[Mode1] LED	[Mode2] LED					
1	フォーカス調整	周波数調整(100MHz Stage1)	青色 点灯	赤色 点灯	赤色 点灯	0	0	3	1	
2		周波数調整(100MHz Stage2)			緑色 点灯	0	0	7	1	
3		周波数調整(100MHz Stage3)			青色 点灯	0	0	7	1	
4		周波数調整(6MHz)		緑色 点灯	赤色 点灯	赤色 点灯	0	0	15	1
5		周波数調整(20MHz)				緑色 点灯	0	0	15	1
6		周波数調整(200kHz)				青色 点灯	0	0	15	1
7		周波数調整(1MHz)				青色 点灯	赤色 点灯	0	0	15
8	明るさ調整	Rの明るさ調整	消灯	赤色 点灯	0	0	127	1		
9		Gの明るさ調整		緑色 点灯	0	0	127	1		
10		Bの明るさ調整		青色 点灯	0	0	127	1		
11	ノイズ調整	Noise Filter	青色 点灯	緑色 点灯	0	0	15	1		

11-2. プラグアンドプレイデータ(EDID データ)の設定

- (1) EDID の設定は、サーバの電源 OFF、モニタの電源 ON の状態で行います。
- (2) REMOTE に接続したキーボードで、<Shift>を押しながらか<Alt>を素早く 2 回押下します。
(REMOTE 内部のブザーが鳴ります)
- (3) EDID データが正しく設定されると、LOCAL 及び REMOTE の[Power] LED が 1 回点滅します。
- (4) EDID 設定後、サーバの電源を ON すると適切な解像度で画面が表示されます。

注. フル HD (1920×1080) 及び WUXGA (1920×1200) に於いて画面が上手く表示されない場合は、<Shift>と<Ctrl>を押しながらか<Alt>を素早く 2 回押下する操作にて EDID データを表示しやすいデータに読み替え正常に表示することができます。

11-3. 各国キーボード言語設定

- (1) REMOTE の[◀]スイッチと[▶]スイッチを同時に 5 秒間長押しすると、“ピッ” というブザー音が鳴り、言語設定モードに入ります。
- (2) [◀]スイッチと[▶]スイッチの操作で言語を選択します。
[▶]スイッチを押すごとに、“ピッ” というブザー音が鳴り、“US” → “UK” → “German” → “French” … と切り替わります。(下表の上から下の順番)
[◀]スイッチを押すごとに、“ピッ” というブザー音が鳴り、“Danish” → “Belgian” → “Norwegian” → “UNIX” … と切り替わります。(下表の下から上の順番)
- (3) 言語選択が終わったら、[Select]スイッチにて決定し言語設定モードを終了します。

各国キーボード設定は下表の通りです。

デフォルトは、“Japanese” となっています。

各国キーボード設定	LED 表示	
	[Power] LED	[EQ/Skew] LED
Japanese	緑色 点灯	青色 点灯
US	緑色 点灯	緑色 点灯
UK	緑色 点灯	赤色 点灯
German	緑色 点灯	青色 点滅
French	緑色 点灯	緑色 点滅
Spanish	緑色 点灯	赤色 点滅
Swedish	消灯	青色 点灯
Portuguese	消灯	緑色 点灯
Chinese(Taiwan)	消灯	赤色 点灯
Korean	消灯	青色 点滅
Italian	消灯	緑色 点滅
UNIX	消灯	赤色 点滅
Norwegian	緑色 点滅	青色 点滅
Belgian	緑色 点滅	緑色 点滅
Danish	緑色 点滅	赤色 点滅

11-4. キーボード、マウスの操作権

本製品は LOCAL と REMOTE 両方にマウス、キーボードを接続することが可能です。

ただし、LOCAL と REMOTE の同時操作による誤動作を防止するために、LOCAL と REMOTE を操作権で制御しており、操作権の有る者のみ操作が可能です。

5 秒以上マウスとキーボードの操作が行われない場合に、操作権をどちらも取得していない状態となり、その後、操作権は先に操作した方に移ります。

11-5. パラメータの初期化

(1) REMOTE に接続したキーボードで、<Tab>を押しながら<Alt>を素早く 2 回押下します。

(2) パラメータ（設定値）が工場出荷時の値に初期化され、LOCAL および REMOTE の[Power] LED が 1 回点滅し、REMOTE 内部のブザーが鳴ります。

12. 対応機種

12-1. キーボード

PS/2 キーボード (101~109 キー)

(HUB 付) USB キーボード (101~109 キー、SUN Type6 USB キーボード)

デバイス独自の拡張機能については動作しません。

ORACLE (SUN) サーバ対応とキーレイアウト

サーバと LOCAL 間を USB 複合ケーブルで接続した場合、下記のキーレイアウトになります。

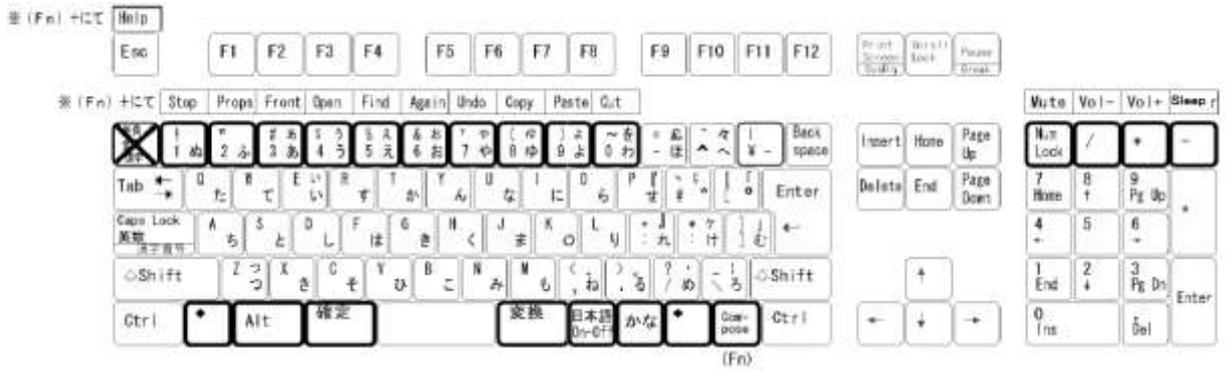
- ① Windows マシンをホストとして延長し標準キーボードを接続した場合。



- ② Windows マシンをホストとして延長し ORACLE (SUN) 用標準キーボードを接続した場合。



③ ORACLE (SUN) サーバをホストとし延長し標準キーボードを接続した場合。



注：Application キーを単独押下した時は、Compose キーコードが出力されます。
 Application キーと他のキー (* (Fn) +のキー列) を併押下することで、SUN 専用
 キーコードが出力されます。

④ ORACLE (SUN) サーバをホストとし延長し ORACLE (SUN) 用標準キーボードを接続した場合。



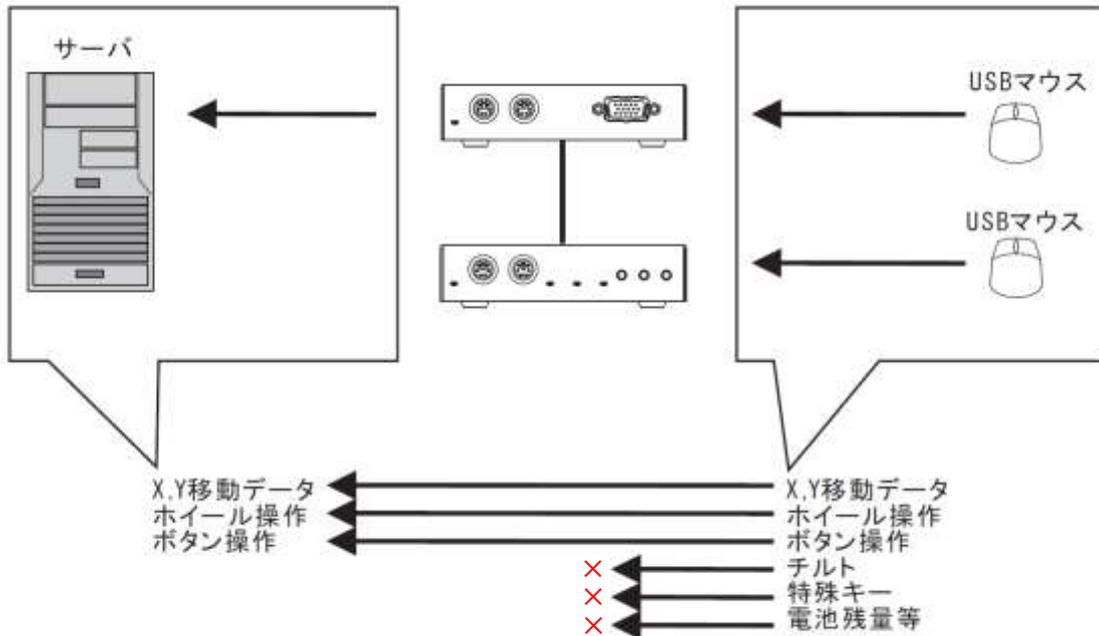
12-2. マウス

① PS/2 マウス

2 ボタンマウス、3 ボタンホイールマウス、5 ボタンホイールマウス対応

② USB マウス

カーソル、5 ボタン、スクロール機能のみ対応



- ・XY 移動データは、12bit,16bit などのデータ幅にも対応します。
サーバには、8bit データ幅として送信します。
- ・ボタンは 5 つまでサポートします。
- ・チルト、特殊キー、電池残量等のデータはサーバに送信できません。

尚、USB マウスと PS/2 マウスは同時に操作できません。同時に接続した場合には、USB マウスが動作します。

12-3. モニタ

<サポート解像度>

解像度	リフレッシュレート
640 x 480	60
	72
	75
	85
720 x 400	85
800 x 600	56
	60
	72
	75
1024 x 768	85
	60
	70
	75
1152 x 864	85
	75
	66
	76
1152 x 900	66
	76
	60
	75
1280 x 1024	60
	75
	85
1600 x 1200	60
	65
	70
	75
1920 x 1080	60
1920 x 1200	60

サーバからのビデオ入力は、セパレートシンク信号及びコンポジットシンク信号に対応しています。

13. 仕様

項目		仕様	
名称		送信ユニット (LOCAL)	受信ユニット (REMOTE)
LED 表示	[Power]	1	1
	[EQ/Skew]	—	1 (3色)
	[Mode1]	—	1 (3色)
	[Mode2]	—	1 (3色)
スイッチ	[◀],[▶]	—	2
	[Select]	—	1
インターフェース	キーボード	PS/2 キーボードインターフェース (OADG 準拠)	
	マウス	PS/2 マウスインターフェース (OADG 準拠)	
	USB	USB キーボード、マウス (Low、Full スピード)、ハブ	
	送信・受信ユニット間	当社オリジナル仕様 (RJ45 (CatX) 8 線)	
コンソールポート	キーボード	PS/2、Mini DIN 6P メス ×1 (紫色)	PS/2、Mini DIN 6P メス ×1 (紫色)
	マウス	PS/2、Mini DIN 6P メス ×1 (緑色)	PS/2、Mini DIN 6P メス ×1 (緑色)
	USB (キーボードマウス)	USB Type A ×2	USB Type A ×2
	モニタ	Mini D-SUB 15P メス ×1 (青色)	Mini D-SUB 15P メス ×1 (青色)
サーバポート	Mini D-SUB 15P メス ×1 (黒色)	-	
送信・受信ユニット間延長距離	1~300m		
モニタ解像度、リフレッシュレート	1600 x 1200 (最大)、75Hz (~300m) 1920 x 1200 (最大)、60Hz (~200m)		
電源 / 消費電流	DC5V / 0.5A (TYP) DC5V / 1.7A (MAX)	DC5V / 0.9A (TYP) DC5V / 2.0A (MAX)	
消費電力 / 発熱量	2.5W / 9.0KJ/H		4.5W / 16.2KJ/H
AC 電源 / 消費電力	AC100V±10% / 11W 以下		AC100V±10% / 13W 以下
コンソールポートへのキーボード/マウス供給可能電流	PS/2 キーボード 150mA (MAX) PS/2 マウス 150mA (MAX) USB キーボード 500mA (MAX) USB マウス 500mA (MAX)		
動作周囲温度 / 湿度	0~40℃ / 10~80%RH		
保存温度	-20~60℃ / 10~85%RH		
最大湿球温度	動作時 25℃以下 非動作時、輸送及び保管時 46℃以下		
構造	金属ケース、塗装色 (黒)		
外形寸法 (W×D×H) 単位 mm (突起部除く)	110×100×25		110×100×25
質量	約 0.3kg		約 0.3kg

添付品	オペレーティングマニュアル × 1 ACアダプタ × 2 ACコード × 2 ナイロンクランプ × 2 ネジ（ナイロンクランプ取り付け用、FG取り付け用） × 4 フェライトコア × 1 ナイロンバンド（ACアダプタ結束用） × 2
-----	--

（参考：オプション）

名称	形格	物番	備考
サーバ/PC 接続専用ケーブル	FP-C007-PS2	NC14000-B601-R	PS/2:0.7m
	FP-C018-PS2	NC14000-B602-R	PS/2:1.8m
	FP-C030-PS2	NC14000-B603-R	PS/2:3.0m
	FP-C050-PS2	NC14000-B605-R	PS/2:5.0m
	FP-C007-USB	NC14000-B101-R	USB:0.7m
	FP-C018-USB	NC14000-B102-R	USB:1.8m
	FP-C030-USB	NC14000-B103-R	USB:3.0m
	FP-C050-USB	NC14000-B105-R	USB:5.0m
Lタイプ取付金具	FP-P101	NC14004-B370-R	
VESA取付金具	FP-P102	NC14004-B371-R	

LOCAL-REMOTE 間は下記のケーブルで接続して下さい。

- ・ Cat6 STP ストレートケーブル(推奨)
- ・ Cat5E STP ストレートケーブル
- ・ Cat6 UTP ストレートケーブル
- ・ Cat5E UTP ストレートケーブル

※Cat6 STP ケーブルは東日京三電線（株）製「NETSTAR-C6A SA」を推奨します。

14. トラブルシューティング

症 状	原 因	対 策
キーボード、マウスの動作がおかしい / 動作しない。	キーボード、マウスが逆接続。 (PS/2 のみ)	サーバ及び本装置に正しく接続する。
	接続 / ケーブル不良。	コネクタの接続を確認する。 別のキーボード又はマウスに交換する。
	サポートしていないキーボード、マウスを接続。	サポートされているキーボード、マウスに交換する。
	PS/2 コンソールと USB コンソールの両方にキーボード、マウスを接続している。	PS/2 か USB どちらかのキーボード、マウスを外す。 PS/2 と USB の両方に接続していると USB 側が優先され、PS/2 側は動作しません。
マウスのボタンが動作しない。	サポートしていないマウスを使用した。	サポートされているマウスに交換する。
USB キーボード、マウスが動作しない。	USB キーボード・マウス以外の USB デバイスは使用できません。	USB キーボード・マウスのみ接続してください。
	[POWER] LED が赤色点灯し過電流検出回路が動作した。	故障している USB キーボード・マウスが接続されています。対象のキーボード・マウスを交換してください。
画質が劣化する。 (ゴーストや文字のニジミ等)	接続 / ケーブル不良。	コネクタの接続を確認する。 別ケーブルと交換し、問題が解決したら、良品ケーブルに交換し、不良ケーブルは廃棄する。
今まで動いていたのに突然動かなくなった。	接続が外れた。	接続を確認し、再起動する。
	サーバに不具合が発生した。	サーバの不具合を直す。
画面が映らなくなった。	サーバの省電力モード設定により画像信号をサーバが出力しなくなった。	マウス又はキーボードの操作等でサーバの省電力モードから抜ける。
	サーバの電源が OFF になった。	サーバの電源を入れる。
	モニタの EDID が読み込まれていない。	EDID データを設定する。
	モニタが対応していない。	対応しているモニタを接続して EDID データの設定をする。

MEMO

MEMO

保証規定

1.保証期間内に商品が故障した場合は、本規定に従い無償修理致します。

製品に本書を添えてお買い上げ販売店等にご依頼ください。

2.保証期間内でも次の場合は有償となります。

- (1) 修理依頼時に保証書またはお買い上げ伝票の提示がない場合。
- (2) お買い上げ日、お客様名、販売店印の記入がないおよび、保証書またはお買い上げ伝票を改変した場合。
- (3) 商品に添付のユーザーズ・マニュアルの注意事項やご使用上の注意を満足していない場合。
- (4) 出張修理を要する場合。
- (5) 本書に故障内容を明記されていない場合。
- (6) 書面が添付されていても、内容が不明で再現のために調査費用が発生した場合。
- (7) 火災、地震や台風などの天災、騒乱などの人災、公害や異常電圧などの使用環境による故障および損傷。
- (8) 保管・運搬による故障および損傷。
- (9) 接続された他の機器に起因して故障した場合。
- (10) 弊社保守部門以外で修理、調整、改造をした場合。
- (11) 取り扱い上での不注意、ご使用による故障および損傷。
- (12) 弊社が認めた以外で使用した場合のトラブル。

3.将来販売されるソフト、ハードとの互換性は保証されませんのでご了承ください。

・ソフトやハードの組み合わせ等の相性で発生するトラブルは故障としませんのでご了承ください。

・修理・交換部品が製造中止や入手困難な場合は、相当品または上位互換品と交換する場合があります。

・本商品を第3者に転売した場合は保証対象外となります。

4.本商品の故障またはその使用で生じた直接的、間接的損害は、弊社は一切の責任を負わないものとします。

5.本保証規定は日本国内で有効です。 This warranty is valid in Japan.

また本商品は、極めて高い信頼性が要求される下記のような用途での使用はできません。これらの使用は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

・軍事目的・原子力設備・交通制御設備・防火、防災設備・燃焼制御設備・航空宇宙機器・生命維持のための医療機器・その他人命や財産に影響をおよぼす設備。

*保証期間終了後の有償修理は別途見積もりとなります。

本規定は、以上の保証規定により弊社が無償保証を行うためのもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

< 故障内容 >

故障内容を具体的に記載ください。

記載ない場合は返却させていただく場合があります。

★1. パソコン、キーボード、マウス、モニタの型式を記載ください。

★2. 初期不良でしたか？ 使用中の故障でしたか？ : (初期/使用中)

★3. 故障内容を具体的に記載ください。

<WEB掲載用のため保証書欄は削除しています>

<製品のお問い合わせ>

富士通コンポーネント株式会社

第二マーケティング部 TEL 03-3450-1645

E-mail: fcl-servis-center@cs.jp.fujitsu.com

ホームページ: <http://www.fujitsu.com/jp/fcl/>

<修理・不具合に関するお問い合わせ>

富士通コンポーネント お客様サービス&サポートセンター



0120-810225

※携帯、PHSからもご利用になれます。

E-mail: fcl-servis-center@cs.jp.fujitsu.com

営業時間:9:00~12:00、13:00~17:00 (土、日、祝祭日を除く)

小型遠隔ユニット [FE-1300CW]

オペレーティングマニュアル兼保証書

発行日 2016年10月

発行責任者 富士通コンポーネント株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
 - 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
 - 無断転載を禁じます。
-

FUJITSU

